



交通情報

鹿児島中央駅・・・車で70分

川内駅・・・・・・車で40分

ルールとマナー

- ・ベッコウトンボの捕獲は禁止されています。
- ・池に許可なく入ったり、浮島に乗ることは禁止されています。
- ・蘭牟田池での外来魚（ブラックバス・ブルーギル等）の再放流は禁止されています。
- ・水鳥に指定以外の餌を与えないでください。
- ・周りの農家の迷惑になるため、農道や田んぼ等に入らないでください。
- ・ごみは必ず持ち帰りましょう。

以上のことを守って蘭牟田池の自然観察を楽しんでください。

【編集・写真協力】永野萌子・成見和總・山元正孝・塚田拓・春田敏・徳永修治（敬称略）

平成27年11月8日 ラムサール条約登録10周年



いむた いけ 蘭牟田池

(自然観察ガイドブック)

発行・問合せ先

薩摩川内市

■本庁 環境課

〒895-8650 鹿児島県薩摩川内市神田町3番22号

☎0996-23-5111 FAX0996-20-5570

メールアドレス: life-env@city.satsumasendai.lg.jp

■祁答院支所

〒895-1501 鹿児島県薩摩川内市祁答院町下手67番地

☎0996-55-1111 FAX0996-55-1021

蘭牟田池マップ



梅林



レイクサイドホテル
いむた清風



外来魚回収ボックス
設置箇所
(11 ページ) **B**

1 周道路

▲ 片城山
508.8m



蘭牟田池ビオトープ
(9 ページ)



泥炭形成植物群落
(5 ページ)

▲ 山王岳
496m



サイクリングロード



落羽松



ベッコウトンボ
観察ポイント
(7 ページ)



公園管理事務所



生態系保存資料館
アクアタイム

飯盛山
432m
(14 ページ)



● 竜石 (14 ページ)



● 展望台

キャンプ場



茶園



桜並木



売店



自生つつじ園

竜仙館
そうめん流し



世界一
郷水車

▲ 舟見岳
498m

▲ 愛宕岳
485m (14 ページ)





藪牟田池(いむたいけ)

昔、イグサ(藪草)の有数の産地であり、沼・湿地(牟田)があったことから、その名がつけられたとされています。

藪牟田池は、標高295m、水深約3.5m、周囲約3.3km、面積約60haの火山湖で、周囲を標高450~500m前後の外輪山に囲まれています。

藪牟田池の水は、池の東側にある水門から、1754年(宝暦4年)に完成した全長380mの隧道(トンネル)を通り、下流域の水田に利用されています。

貴重な自然が残る藪牟田池には、さまざまな野鳥が飛来し、多くの野生動物が生息しています。

2005年11月に国内希少野生動物であるベッコウトンボが生息する重要な湿地として、ラムサール条約の登録湿地になりました。

● 藪牟田池のあゆみ

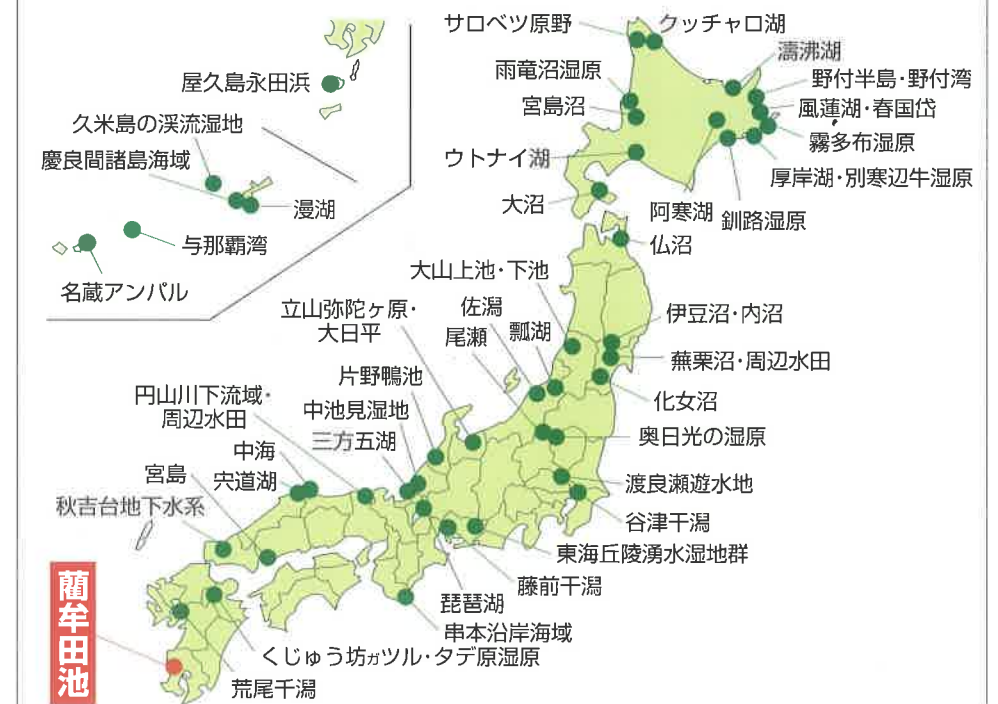
- 1921年(大正10年) 国の天然記念物指定『泥炭形成植物群落』
- 1953年(昭和28年) 鹿児島県立自然公園指定
- 1996年(平成8年) ベッコウトンボ生息地保護区指定
- 2005年(平成17年) ラムサール条約登録

正式な名称は、「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」といいます。1971年にイランのラムサールという町で採択されたことから、一般に「ラムサール条約」と呼ばれます。

現在は、水鳥の生息地だけでなく、広く生態系にとって重要な湿地を保全する国際条約となっています。また、湿地の保全だけでなく、湿地をうまく活用していこうという「賢明な利用(ワイズユース)」も提唱しています。

世界では、2012年現在2,000カ所以上が登録され、国内では1980年に北海道の釧路湿原がはじめて登録され、現在は藪牟田池をはじめ46ヶ所が登録されています。

ラムサール条約湿地・登録地 位置図



でいたんけいせいしょくぶつぐんらく
蘭牟田池の泥炭形成植物群落～国指定天然記念物～
 【指定年月日】大正10年3月3日



蘭牟田池の西側の一帯には低層湿原が発達しており、ジャヤナギやヨシ、マコモ、アンペライなどの挺水植物が群生しています。

これらの植物は枯れると堆積し、炭化して泥炭層を形成します。さらにこの一部が湖底から離れて水面に浮かび上がったのが浮島で、大小さまざまな浮島が点在しています。

これらの浮島は、池の水位が低いときは池の底に定着していますが、水位が高いときは湖面に浮かび、風によって移動する様子を観察することができます。

浮島の上には、ヒトモトススキ、エゾミソハギ、チョウジタデ、イトタヌキモ等の植物も観察できます。

泥炭は、日本列島の中部以北に多く存在していますが、南方地域にあるのはとても珍しく、泥炭形成植物群落として国の天然記念物に指定され、保護されています。

でいたんけいせいしょくぶつぐんらく
泥炭形成植物群落で見られる植物



アカバナ



アンペライ



イトタヌキモ



エゾミソハギ



キクモ



クロホシクサ



コガマ



ジャヤナギ



チョウジタデ



テツホンダ



ハンゲショウ



マコモ



マダイオウ



ミズオトギリ



ヨシ

ベッコウトンボ (*Libellula angelina* Selys, 1883)



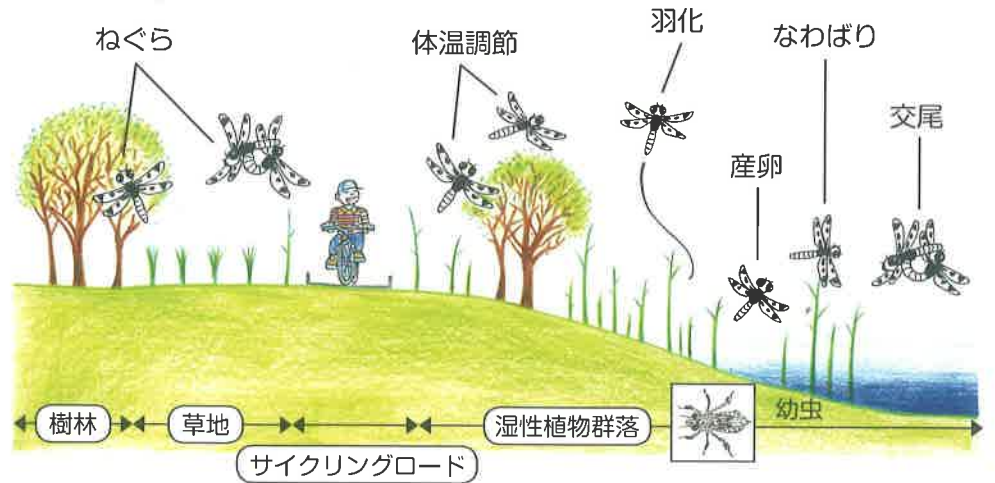
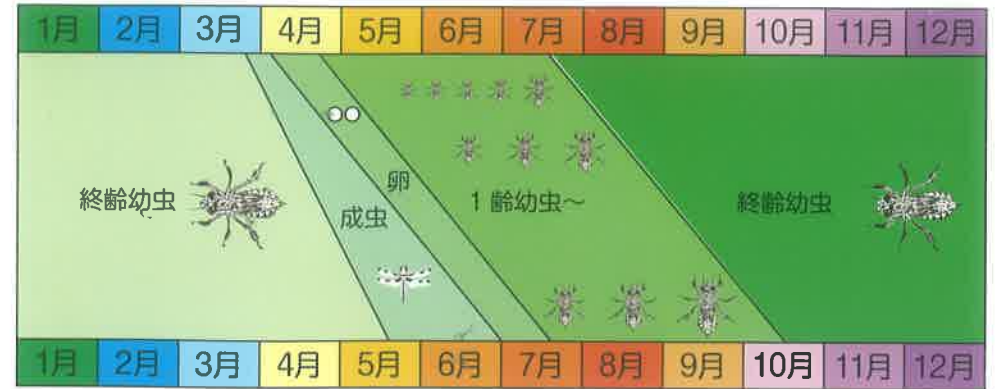
未熟な個体の体や羽の色がベッコウ色であることが特徴で、成熟するととりわけオスは黒色になります。体長は約3 cm。ややずんぐりとした体形の中型のトンボです。

平地や丘陵地の抽水植物の多い池・沼に生息し、成虫は3月下旬から6月下旬頃に出現します。藪牟田池では、4月中旬から5月上旬がピークです。

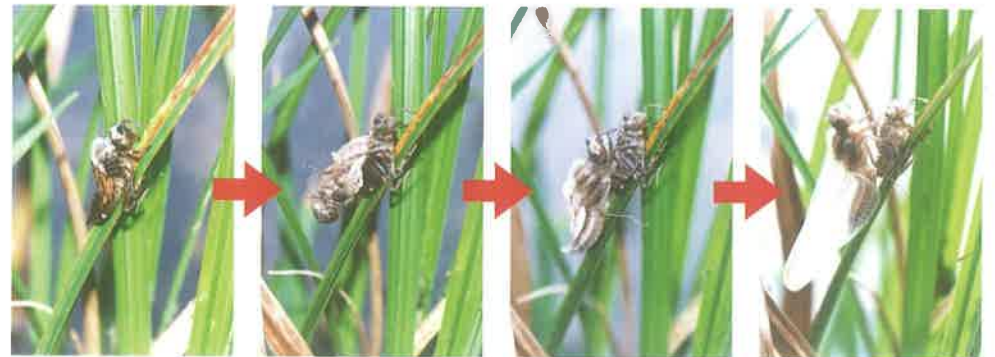
本種は、日本及び朝鮮半島と中国北・中部に分布しています。国内では本州、四国、九州、香岐、対馬などに局地的に分布しますが、絶滅が心配されることから、環境省のレッドデータブックでは絶滅危惧Ⅰ類に指定されています。また、1994年に国内希少野生動植物種に指定され、捕獲が禁止されています。

全国的に絶滅や減少の傾向のある中で、藪牟田池は、ベッコウトンボが自然状態で安定的に生息していることから、1996年に国の「ベッコウトンボ生息地保護区」に指定されました。

ベッコウトンボの生活史



ベッコウトンボの羽化



藪牟田池ビオトープ

目的

ベッコウトンボが生息できる場所の確保と、藪牟田池の自然を身近に観察できる場所の整備を目的としています。

ビオトープ全景



観察池



保全池



基本テーマ

1. 「ベッコウトンボの生息地」

藪牟田池のベッコウトンボが繁殖できるビオトープ

2. 「生物多様性に配慮した水辺空間」

藪牟田池の生物多様性を可能な限り復元したビオトープ

藪牟田池で見られるトンボ



リュウキュウベニイトトンボ



アオモンイトトンボ



ハグロトンボ



チョウトンボ



台湾ウチワヤマ



サラサヤマ



ハラビロトンボ



オオヤマトンボ



トラフトンボ



ヨツボシトンボ



ハッチョウトンボ



ベニトンボ



アオビタイトンボ



マイコアカネ



コノシメトンボ

外来魚の再放流(リリース)禁止

外来魚とは、本来、生息しない地域に人間によって持ち込まれた魚です。
現在、藪牟田池に生息するオオクチバス、ブルーギルも外来魚です。



オオクチバス (ブラックバス)



ブルーギル

本来、その地域に生息しない外来魚には、天敵となる生物がいないため、短期間で大量に繁殖し、昆虫類や在来魚(メダカやオイカワなど)を捕食したり、在来魚と競合し、在来魚の生息場所を奪い取ったりする行動が見られます。

環境省の調査で、藪牟田池でも外来魚がベッコウトンボを捕食していることがわかりました。藪牟田池の貴重な生態系を次世代に残していくために、外来魚を定期的に駆除していくことが必要です。

そこで薩摩川内市では、藪牟田池の外来魚をこれ以上増やさず、また、貴重な生態系を保全していく必要性を理解していただくため、藪牟田池での外来魚の再放流(リリース)を禁止することとしました。

また釣った外来魚は、法律により生きたまま持ち帰ることはできません。

そこで藪牟田池では、外来魚の回収ボックスを設置してありますので、釣った外来魚の回収にご協力ください。

外来魚回収ボックスへは、外来魚以外の魚や、ごみは絶対に入れないでください。



回収ボックス

藪牟田池で見られる生き物たち

鳥類

カイツブリ、ゴイサギ、ダイサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、スズガモ、ミサゴ、コジュケイ、オオバン、ヤマシギ、キジバト、ホトトギス、カウセミ、アオゲラ、コゲラ、ハクセキレイ、ピンズイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、シロハラ、トラツグミ、ウグイス、エナガ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カワラヒワなど



ヒドリガモ



ホオジロ



マガモ

昆虫類

ヒナカマキリ、ハラビロカマキリ、クマコオロギ、スズムシ、カネタタキ、キリギリス、オンブバッタ、トノサマバッタ、トゲヒシバッタ、ヒゲジロハサミムシ、ヒグラシ、エサキアメンボ、コオイムシ、マイマイカブリ、コガタノゲンゴロウ、ヒメガムシ、センチコガネ、キアシナガバチ、ギンイチモンジセセリ、モンキアゲハ、ヤマトシジミ、コムラサキ、ツマグロヒョウモンなど



ギンイチモンジセセリ



コガタノゲンゴロウ



コオイムシ

植物

ヒメシダ、アカガシ、マダイオウ、コブシ、シキミ、バリバリノキ、ミツバアケビ、シマサルナシ、ヤブツバキ、ミスオトギリ、カラスザンショウ、ニョイスミレ、ミスユキノシタ、ハナイカダ、シャシャンボ、オカトラノオ、ムラサキシキブ、ヒキオコシ、スズメハコベ、ナンバンギセル、ガマズミ、オミナエシ、アギナシ、ツクシショウジョウバカマ、クロホシクサ、ヤマコンニャク、ツクシカンガレイなど



マダイオウ



ミスオトギリ



オミナエシ

両生類・魚類・その他

トノサマガエル、ニホンスッポン、ニホントカゲ、アオダイショウ、シマヘビ、ニホンマムシ、アカハライモリ、ニホンアマガエル、ヌマガエル、シュレーゲルアオガエル、ウナギ、ゲンゴロウブナ、ドジョウ、トウヨシノボリ、スジエビ、サワガニ、マルタニシ、ヒメモノアラガイ、サカマキガイ、カヤネズミ、ニホンアナグマ、ユビナガコウモリなど



トウヨシノボリ



トノサマガエル



アカハライモリ

蘭牟田池の四季

春

ベッコウトンボの羽化が始まり、池ではトンボでにぎわい始めます。一周道路沿いには桜が咲き、花見客が多く訪れます。



桜



田の神戻し



ツマキチョウ

夏

毎年8月7日に、花火大会が開催されます。



アジサイ



花火大会



サツマニシキ

秋

池周辺の広葉樹が色づきはじめ、秋空の下、外輪山登山が行われます。



紅葉



外輪山登山



アサギマダラ

冬

越冬するカモたちが渡ってきます。池の周りの1周道路では、各種マラソン大会が開催されます。



雪景色



マラソン大会



カモ類

蘭牟田池のむかしばなし

むかし、蘭牟田池にとても仲むつまじい男竜と女竜が住んでいたそうです。2匹はとっても幸せな日々を送っていたそうですが、ある嵐の激しい夜に、男竜は女竜を裏切り、こっそり池を抜け出して行方知れずになってしまいました。男竜の裏切りに気付かない女竜は、いなくなった男竜の無事を祈り、かげ膳を備え続けました。そのかげ膳の飯を1年、10年と積み重なって出来た山が飯盛山といわれています。



飯盛山

愛宕山



風の便りに、男竜が霧島の大浪の池にいと知った女竜は、雲に乗っていこうとしましたが、雲に手が届かずいたずらに滑っては山の斜面を崩すばかりでした。そうしてできた山が愛宕山といわれています。

百年、千年と時は過ぎ、女竜は男竜を諦めずにいましたが、年老いてしまい、このような姿を里人に見られることを恐れた女竜は、霧の深い夜に雲に乗ろうとしました。しかし、急に霧が晴れ、里人に見つかってしまった女竜は、無念の涙をのみながら岩の姿に変わったそうです。

池の西側、山の山頂から中腹にかけてある大岩がこれであり、これを竜石と呼んでいます。



竜石

(祁答院町史より)